

研修会・講演会等参加報告書

議員名 宮本 英彦



平成28年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び成果等
平成28年3月25日(土) 13:00~17:00	都市センターホテル (東京都千代田区)	<p>地方議員フォーラム2017「議会改革の第二ステージ～議会から政策サイクルを回す～」</p> <p><研修内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川正恭氏(早稲田大学名誉教授・元三重県知事)の基調講演、江藤俊昭氏(山梨学院大学)を座長に、議会改革の第二ステージについて先進的市議会から取り組み事例などが紹介された。 ・可児市議会 議会改革特別委員長 川上氏 ・大津市議会 議会総務課長 清水氏 ・会津若松市 議運委員長 松崎氏 ・西脇市議会 議員 林氏 ・那覇市議会 議会改革座長補佐 前泊氏 <p><研修を終えて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会は市長の追認機関・監視機能だけであってはならない。議会も政策立案機能を発揮し市政の発展に寄与すべきである。3月議会は予算、6月議会は補正、9月議会は決算、12月議会も補正だけで終わるのではなく、年間を通した一本のサイクルとした議会活動とし、かつ、一期4年を見据えての活動とすべきである。 ・議会報告会、市民との意見交換会、議員間討議、専門的知見の活用、行政視察、他団体等との一般会議、常任委員会などにより、議員間の意見交換を活発に行い、議会としての政策を提言し、内容によっては条例を制定すべきである。議会が政策立案能力を磨き、力を付ければ当局も変わる。当局を批判することは簡単であるが、それだけであっては議会本来の機能ではない。本市の発展を実現するには議会がもっと能動的に活動し、議員提案ができる仕組み作りの構築が必要であり、そのことが議会改革の本質であると確信した。 ・その一歩として市民が議会・議員に何を期待しているのか「議会市民アンケート」を実施し、問題点を把握することが議会改革のスタートではないか。また、議員間討議が当たり前の仕組み作りが必要である。そして議会改革に詳しい「江藤教授」の講演を提案したい。

豊明市 議事課
29.3.27
分類 . . 30.10.5.1
可・否・一部否・一時否
第210号受付

(注) 本報告書は5年間公開します。